



公明党
永尾 邦忠 議員

問 島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

Q 市民への周知不足が指摘されている。島原が生き残るための重要な政策なのでさらなる周知をするべきでは。

A 広報誌やホームページへの掲載だけではなく、機を捉えてまちづくりに関わる方々と議論を重ねていきたい。

Q 島原半島ジオパーク、島原半島観光連盟、雲仙岳災害記念館の連携による交流人口の拡大への取り組みはどうか。

A 3団体が連携してイベントの企画運営、PR、誘致事業などを行っている。本年度は世界ジオパークの再認定や災害記念館のリニューアルもあるので、市も積極的ににかかわっていく。

問 旧し尿処理場「浄化苑」の活用について

Q 本市における家畜のふん尿処理の状況は。

A 法律に基づき対象となる全農家が適正に処理をされている。苦情があった場合には関係機関と連携して指導を行っている。

Q 「浄化苑」を家畜のふん尿処理施設として活用できないか。

A 改修や耐震補強工事、維持管理費など改修が必要。対象となる補助事業もなく、甚大な費用が予想される。

問 犬や猫の殺処分ゼロを目指して

Q 本市における現状は。

A 昨年度においては犬77頭、猫19頭が捕獲・引き取りにより殺処分されている。

Q ボランティア活動や獣医師会などが協力し、殺処分ゼロを目指すような取り組みはできないか。

A 県と県獣医師会では、野良猫に避妊・去勢手術をする事業を行っており、本市でも実績がある。今後関係団体と連絡をとり、殺処分削減に努めていきたい。

【その他の質問項目】
◇島原城について



眉山クラブ
松井 大助 議員

問 教育勅語の問題に関して

Q 現代の世相になじまない部分もあると感じるが、親子、夫婦、兄弟姉妹、友人との関係など、世の中が変わっても決して変わってはならない人としての道、道徳の根源であると言われている部分もある。市長の所見を伺う。

A 徳目が記され道徳観、人として大切なことも書かれている。昭和23年に衆参両院において失効の決議がなされ、市内小中学校では日本国憲法の理念及び新しく制定された教育基本法に基づき道徳教育が進められていると認識している。

Q 学習指導要領が改定されるが、現行の指導要領との違いは何か。

A 道徳の教科化が示され、家族愛や生命尊重、郷土愛など9年間で22項目にわたって繰り返し学習する。道徳性を育てることが学校教育の使命だと考えている。

問 国旗の掲揚について

Q 国旗掲揚をする家庭が少なくなった。そのうち国旗を知らない若者も出てくるのではないか。市長の所見を伺う。

A 社会生活、個人の価値観が多様化する中、核家族化などの社会環境の変化があり、国旗に対するそれぞれの受けとめ方が多様化しているのではないかと思う。

Q 過去には「祝祭日は国旗を掲揚しましょう」など、市の広報に掲載されていたが、現在はどうか。また、行政無線でアナウンスするなどの対応はできないか。

A 国旗は国家の象徴として大切に取り扱いわれているが、掲揚は市民の自主的な意思に委ねられており、市の広報や行政無線等での市民への働きかけは考えていない。

【その他の質問項目】
◇市民体育祭について
◇まちづくりについて